

現行設備の問題点と検討事項

項 目	具体的内容
1. 共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本設備は、長期間使用することとなるため、使用期間中に想定される保守や接続機器交換等が容易に対応できること。 ・誰でも操作できるように操作が容易となるような工夫をすること。 ・地震や雷を想定した機器の保全対策を講じること。 ・ダム管理・運用の省力化、利便性を考慮したシステムにすること。
2. テレメータ設備	<ul style="list-style-type: none"> ・下流合流点観測局設備及び周囲の修繕を行う。 ・ダム運用・管理のため、観測局1局の増設を行う。 具体的な設置方法、センサの選定を提案する。 ・市役所事務室のデータ表示盤についても提案する。 ・移動無線については、現状を維持した更新を提案する。
3. ダム諸量演算処理設備	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、ダムの記録はデータ収集まで含めて人力で作成している。これをデータ収集から記録出力まで自動化したい。 ・ダム貯水位の予測表示をしたい。 ・入力データや演算結果のデータ修正など容易に対応可能な機能を提案する。 ・観測データ・記録は、長期保存を可能とする。また、必要時に迅速に印刷できる機能を持つ。
4. カメラ設備	<ul style="list-style-type: none"> ・現行システムでは、カメラ監視設備がないため本工事にて整備する。 ・カメラ監視設置場所は、数か所を想定、ダムの円滑な管理・運用の支援を図るためにカメラを設置する。 必要台数、監視場所、カメラ設置場所について提案する。 ・カメラ画像の確認は、ダム及び市役所の2か所から確認できることとする。 ・監視画像は、一定期間保存し、記録媒体に保存できるようにする。
5. 据付調整工事	<ul style="list-style-type: none"> ・新システム使用開始以降のダム運用が効率的になるように機器の配置等を計画し、施工を行うこと。